

少し先の未来を見据えて

掛川産材を地場産業にする

掛川産材を活用した中大規模木造建築の普及・促進事業



参加無料!

定員50名 参加ご希望の方は裏面よりお申込みください

Thema

中大規模木造建築は
地域力を育む



三井所 清典
前日本建築士会連合会会長

期日■2022年11月8日(火曜日)

時間■13:30~15:30

会場■大日本報徳社

Thema

地域材をスタンダードにする



赤堀 楠雄
ライター

期日■2022年12月8日(木曜日)

時間■13:30~15:30

会場■大日本報徳社

Thema

住宅用一般流通材を用いた
中大規模木造建築の構造計画



稲山 正弘
東京大学大学院農学生命科学研究科

期日■2023年1月20日(金曜日)

時間■13:30~15:30

会場■大日本報徳社

主催：掛川市農林課

運営協力：認定 NPO 法人時ノ寿の森クラブ

問い合わせ：☎0537(28)0082 または 090-6070-1091(清水)

少し先の未来を見据えて

掛川産材を地場産業にする

掛川市域の約4割を森林が占め、民有林約1万haのうち、6,695haがスギ・ヒノキの人工林です。また、人工林面積の約9割が木造住宅などの材料として十分利用可能な樹齢50年生以上であり、豊富な森林資源を有しています。

その豊富な森林資源を背景に掛川産材の利用を促進するためには、森林所有者や素材生産業者、木材加工業者、設計者、建築業者等が共に共存し、木造建築を地場産業化していくことだと思います。

これにより再造林をはじめとした安定的かつ持続的な森林整備が可能となり、森林資源の循環利用を通じて、地域経済の活性化や森林の保全、水源涵養等の森林の有する多面的機能の発揮にも繋がり、SDGsに寄与していくことが可能となります。

この度、掛川市の少し未来を見据えて、木材や建築に携わる関係者の連携と、意識の共有を図ることを目的に、講演会を開催することと致しました。是非ご参加ください。

申し込み
方法

WEBの場合



または下記申込書に必要事項を記入の上
FAX(0537)28-0082まで送信ください。

| | | | | | |
|--|--|----|---|----|-----|
| フリガナ | | | | | |
| 氏名 | | | | | |
| 勤務先 (名称) | | | | | |
| 電話番号 | | | 緊急連絡先 | | |
| メールアドレス | | | | | |
| 11月8日 (火曜日) 時間■13:30~15:30 会場■大日本報徳社 中大規模木造建築は 地域力を育む | 12月8日 (木曜日) 時間■13:30~15:30 会場■大日本報徳社 地域材をスタンダードにする | | 2023年1月20日 (金曜日) 時間■13:30~15:30 会場■大日本報徳社 住宅用一般流通材を用いた 中大規模木造建築の構造計画 | | |
| 三井所 清典 | 赤堀 楠雄 | | 稲山 正弘 | | |
| どちらかに○印をお願いします。 | どちらかに○印をお願いします。 | | どちらかに○印をお願いします。 | | |
| 参加 | 不参加 | 参加 | 不参加 | 参加 | 不参加 |

問い合わせ：認定 NPO 法人時ノ寿の森クラブ
☎0537(28)0082 または 090-6070-1091(清水)